

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり27.3人と、ほぼ横ばいで推移しています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も、第9週は35件の報告があり、小学校を中心に依然流行が続いています。

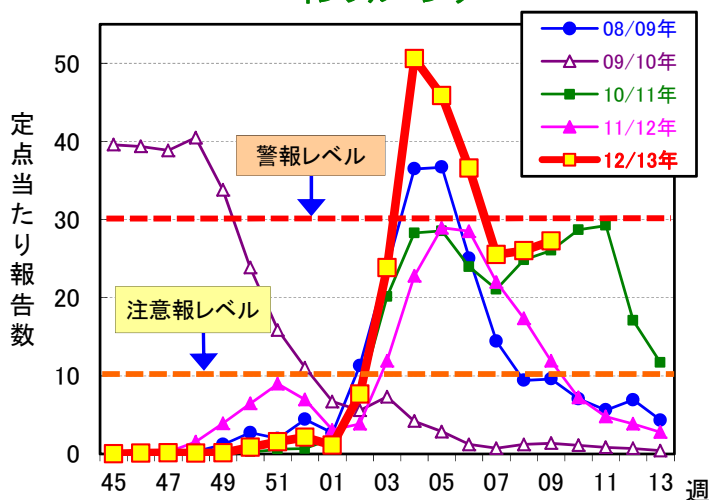
なお、市内の基幹病院2か所による迅速診断キット検査結果では、B型の割合が増加しています(第7週:42%、第8週:54%、第9週:64%)。

しばらくは流行が続くと予測されますので、健康管理に注意するとともに、手洗い・うがいを励行し、感染予防対策を心がけましょう。

2. 風しん

前週、今週と2週続けて報告があり、今年の累計は2件となりました。首都圏を中心に報告数が急増していますので、注意が必要です(次頁参照)。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	1009	27.27	11.54	→	ヘルパンギーナ	-	-	0.01	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.34		流行性耳下腺炎	4	0.17	0.80	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	1.17	1.94	↗	RSウイルス感染症	7	0.29	0.21	
感染性胃腸炎	199	8.29	13.21	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	26	1.08	1.35	↗	流行性角結膜炎	2	0.25	0.55	
手足口病	7	0.29	0.51		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.29		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	8	0.33	0.57		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
百日咳	2	0.08	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	25	女性(40歳代)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	女性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	2	8	男性(30歳代)・感染者、男性(40歳代)・エイズ
5	風しん	1	2	男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レン サ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出 血性結膜 炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミ ジア肺炎
報告数	第5週	1,698	2	28	222	15	18	-	10	2	-	3	5	-	6	-	-	3	-
	第6週	1,353	7	28	211	24	16	1	7	1	-	5	7	-	5	2	-	-	-
	第7週	945	9	28	154	17	9	-	7	2	2	3	6	-	6	-	-	2	-
	第8週	963	8	34	214	36	11	-	10	3	-	-	9	-	2	1	1	2	-
	第9週	1,009	5	28	199	26	7	-	8	2	-	4	7	-	2	-	-	-	-
定点 当たり	第5週	45.89	0.08	1.17	9.25	0.63	0.75	-	0.42	0.08	-	0.13	0.21	-	0.75	-	-	0.43	-
	第6週	36.57	0.29	1.17	8.79	1.00	0.67	0.04	0.29	0.04	-	0.21	0.29	-	0.63	0.29	-	-	-
	第7週	25.54	0.38	1.17	6.42	0.71	0.38	-	0.29	0.08	0.08	0.13	0.25	-	0.75	-	-	0.29	-
	第8週	26.03	0.33	1.42	8.92	1.50	0.46	-	0.42	0.13	-	-	0.38	-	0.25	0.14	0.14	0.29	-
	第9週	27.27	0.21	1.17	8.29	1.08	0.29	-	0.33	0.08	-	0.17	0.29	-	0.25	-	-	-	-
全国	第7週	16.31	0.25	1.67	7.29	1.04	0.17	0.05	0.41	0.01	0.02	0.21	0.37	0.02	0.39	0.01	0.01	0.48	0.02
	第8週	13.90	0.25	2.20	8.81	1.28	0.19	0.05	0.45	0.01	0.02	0.24	0.38	0.03	0.42	0.02	0.03	0.49	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

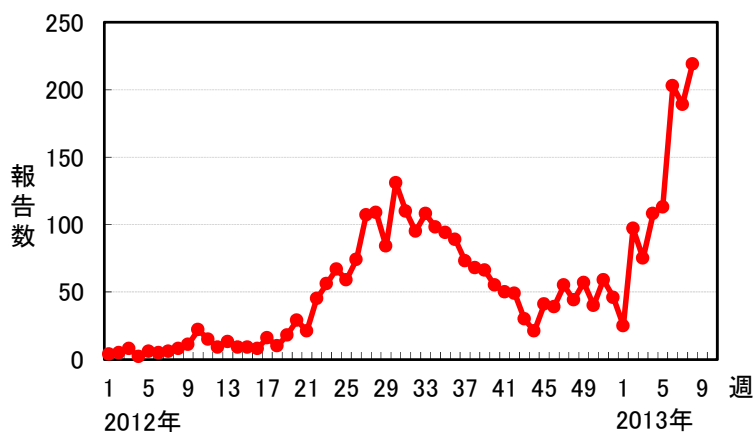
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) インフルエンザ様症状	6	女	2013/02/25	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
無菌性髄膜炎	発熱(38) 髄膜炎	11	男	2013/01/19	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 ヒトヘルペスウイルス7型
その他の消化器疾患	腹痛	4	女	2012/12/28	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	発熱(38.0) 血便 嘔吐	1	女	2012/12/25	糞便	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★風しんに注意しましょう

全国の風しん週別報告数 2012年 第1週～2013年 第8週



昨年は全国で風しん患者が2000件を超え、過去5年で最も多い報告数となりました。今年も報告数が急増しており、成人男性を中心に、特に首都圏で多くなっています。広島市の報告数は、昨年は4件、今年は第9週までに2件ですが、今後流行する恐れがあります。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の障がい(先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが産まれる可能性があるため、本人はもとより、その夫や子どもなどについても、注意が必要です。

今後妊娠を希望する女性や、その夫、子どもその他の同居家族の方で成人を含め、風しんの抗体価が十分であると確認できない方は、積極的に予防接種を受けましょう。

風しんの予防接種等に関する情報は以下のホームページでご覧いただけます。

風しんに要注意! <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1338441470548/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666

広島市西区商工センター四丁目1番2号

E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第9週(2月25日～3月3日)